RI District. 2660　Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2019-20

会報　No.2430
2019 年 9 月 12 日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ

2019-20 President of Rotary International　Mark Daniel Maloney
国際ロータリー第 2660 地区 2019-20 年度ガバナー　四宮　孝郎

2019-20 年度　会長：林　たかみ　幹事：片山　秀樹　広報・会報委員長：浦　収

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル　Tel：072-724-2781　fax：072-724-1786
e-mail：mino-orc@abeam.ocn.ne.jp　HP：http://mino-orc.net/　**例会日**：毎週木曜日　18：30～

◆今週の例会プログラム◆
2019 年 9 月 12 日（木）第 2431 回例会
メキシコ友の会をお迎えして
担当：国際奉仕委員長　西宮　富夫　会員

◆次週 9 月 19 日（木）は休会日です◆
◆次々週の例会プログラム◆
2019 年 9 月 26 日（木）第 2432 回例会
交通安全卓話
箕面警察署署長　西村　芳貢　様
箕面警察署交通課長　阿古敏浩様

◆先週のお客様◆
RI2660 地区ガバナー　四宮孝郎様（大阪西南 RC）
地区幹事　西本紀行様、瓦谷勝様
米山奨学生　張　暁紅様

◆出席報告 2019 年 9 月 5 日第 24230 例会◆
会員数：29 名　出席者：23 名　**出席率　88.46%**
前々前回　2019 年 8 月 1 日　75.90%
◇ロータリーソング◇
箕面ロータリークラブ 50 周年記念ソング

◆会長挨拶◆　会長　林　たかみ

本日は四宮ガバナー、箕面 RC においでいただき誠にありがとうございます。
短い時間ではございますが、後程の卓話、よろしくお願いいたします。

暑かった 8 月が終わり、9 月となりました。天候が不安定で、先週のあかつき福祉会の納涼祭も、始まろうとする直前に猛烈な雨が降りまして、心配いたしました。そんな中、会員の皆様には多数ご参加いただき、用意されたビールと焼き鳥は完売することができました。本当にありがとうございました。また、この納涼祭の場において昨年あかつき福祉会さんが見舞われた台風被害に対しまして、当クラブから財団補助金を使用してサポートさせていただいたことに感謝状をいただいてまいりました。微力ながら箕面 RC があかつき福祉会のお役にたてたことを、大変嬉しく思いました。

9 月 3 日には箕面ロータリー杯ゲートボール大会が箕面市立多世代交流センターで行われました。
暑いなかでしたが、皆さん、元気にロータリー杯を目指してプレイされており、ここでも箕面 RC が皆さんの活動にお役にたてているのは嬉しいことでした。

納涼祭も終わり、残暑は残りますが、少しずつ季節は秋へと進んでまいります。
7 月初めに 5 節句のうちの七夕についてお話しさせていただきましたが、9 月 9 日は重陽の節句となっております。旧暦の 9 月 9 日は新暦の 10 月中頃にあたり、まさに菊の美しい季節で、そして重陽の節句は菊の節句とも呼ばれています。桃の節句、端午の節句、七夕などは皆様ご存知だと思いますが、重陽の節句は今ではされる方も少なく、知らない方もいらっしゃると思います。

七夕の時も申し上げましたが、奇数の重なる日は不吉とされ、9 月 9 日はその奇数の重なる日となりますが、その邪気を払い不老長寿を願って行われる行事が重陽の節句です。菊の花を飾ったり、菊の花びらを浮かべたお酒をくみかわしてお祝いしたり、また菊の着せ綿といって前の日の夜、菊の花に綿をかぶせ、その香りをしみこませたもので体をふいたり着物の袖にいれたりしたそうです。また湯舟に菊を浮かべて入る菊湯や菊の花を詰めた枕で眠る菊枕など、いろいろなことをしてこの季節を楽しんでいたようです。もともとはこのようなお節句は中国の宮廷で行われていた習慣ですが、中国では漢の時代から民間でも祝われるようになりました。
私の母の年代の方達くらいまでは、この行事をされていたようですが、今では一般の家庭ではほとんど行われなくなってしまいました。もともと日本人は季節を大事にしてきましたが、地球温暖化で季節そのものが最近では昔と違い、危うくなってきていることはとても心配ですし、残念なことです。是非、日本が大事にしてきた季節感を守っていきたいものだと思います。

◆幹事報告◆　幹事　片山秀樹
・秋の全国交通安全　箕面駅前街頭啓発活動について
・地区大会について

◆理事役員会報告◆
審議事項
1、第 9 回市民ゴルフ大会への協賛について→承認
2、長崎・佐賀豪雨災害義捐金について→募金箱
3、クラブスローガンについて→会長一任
4、協賛金について→承認
5、予算、補正予算について→意見交換
6、クラブポロシャツについて→承認
7、IGM 予算について→予算超は出席者負担
8、米山レクリエーションについて→承認
9、退会者について→会長預かり
10、事務局員選考について→進捗状況
報告事項
1、地区補助金事業の進捗状況

4 つのテスト　言行はこれに照らしてから
1、真実かどうか　2、みんなに公平か　3、好意と友情を深めるか　4、みんなのためになるかどうか

◆SAA 報告◆　　SAA　庄司修二

ニコニコ箱

庄司修三郎会員：大阪西南 RC 西本様ようこそおいでくださいました。

片山秀樹会員、尾崎夏樹会員、浦収会員、木村知也会員、山本貴雄会員、河野優作会員

米山奨学会

林たかみ会員、尾崎夏樹会員、浦収会員、木村知也会員、河野優作会員

ロータリー財団

西宮富夫会員：四宮ガバナーようこそ

川端崇且会員：四宮ガバナーようこそ

ポリオ基金

尾崎夏樹会員

ベネファクター

上島一彦会員：ロータリーに感謝！！

マーク・ダニエル・マローニーRI 会長テーマ

“ROTARY　CONNECTS　THE　WORLD”

～ロータリーは世界をつなぐ～

マローニー会長はこのテーマを決めるにあたり、次のような思いを語っておられます。

『ロータリーを通じて、私たちはつながります。

ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます。ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます。

私たちは互いに、また地域社会とつながり、同じクラブの会員だけでなく、私たち全員が属する世界的コミュニケーションの人たちとつながっています。

ロータリーでの体験の中核にあるのが、このつながりです。それがあるから、私たちはロータリーに入会し、ロータリーにとどまるのです。ロータリーを成長させる方法も、つながりあります。そして、これが 2019-2020 年度のテーマです。

比類なき基盤を有するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的を追求しながら末永く深い絆をつくり出します。』

この身近な言葉で語られている RI 会長テーマに基づき、2019～20 年度

第 2660 地区年次目標を 6 項目掲げました。

1. クラブビジョンの策定

近年、国際ロータリーでは、柔軟性と多様性が強調されており、大きな潮流の変化は加速度的に進んでいます。その為私たちの地区、及びクラブの地域特性、歴史、規模に合った独自のビジョンを策定する必要があります。

まずクラブ内の分析をしなければなりません。

- 年齢分布表　（10 年前・5 年前・現在）
- 平均年齢　（10 年前・5 年前・現在）
- 過去 10 年間の入退会者数

この分析結果をもとにクラブ内で話し合う機会を作り、会員相互で問題意識を共有しましょう。そして「変えてはならないロータリー」「変えなければならないロータリー」を各クラブにて明確にしましょう。

2. 会員基盤の強化を計る

職業分類制度を今一度見直し、男女の構成比、及び年齢別分類の分析をもとに、多様な会員の入会を促進する必要があります。一方で会員が退会する原因を把握し、その改善に努めなければなりません。

3. ポリオ撲滅への協力

ポリオ撲滅はロータリーの最優先事項であり、世界中で撲滅されるまで、この活動を続けなければなりません。

4. ロータリー財団への寄付増進

- 年期基金　　1 人あたり 150 ドル
- ポリオ基金　　1 人あたり 50 ドル
- 恒久基金　　ベネファクター　各クラブ 1 人以上

5. 米山記念奨学会への寄付増進

- 1 人あたり 3 万円

6. 公共イメージの向上を計る

IM ロータリーデーやクラブ事業等を利用して、会員以外にロータリーに触れて頂く機会を設けることを強く推奨致します。

- My　Rotary 登録率　　60%以上
- クラブセントラル活用率　　75%以上

クラブへの強調事項

①効果の持続性が期待される有意義な奉仕事業（活動の絞込み）

近年、残念ながら会員数が減少しているクラブにおいては、各奉仕部門の委員会を兼務されている委員長もおられます。その状況でも充実した奉仕活動を実践されていることは素晴らしいことですが、ともすれば単に過去の活動の踏襲に陥り、検証すれば実際のニーズと離れたものになるケースがあるかもしれません。

今年度は、再度検証され、奉仕活動を絞り込み、より一層有意義な活動をされることも選択肢の一つとして推奨致します。

②ロータリーファミリーの絆を深める

ロータリーファミリーとは、青少年奉仕部門（インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLA）や米山奨学生、財団奨学生等ロータリープログラムのメンバー、並びに卒業・経験者であるロータリー学友の人達を表します。

このロータリーファミリーの絆を深めることが、これからのロータリーを支える礎となります。様々な機会を捉えて会員の方にファミリーの活動を知って頂きましょう。

③ロータリー賞の獲得を目指す

ロータリー賞の獲得は決して困難なものではありません。目標を立て、是非各クラブが獲得されるように目指して下さい。

私は、次年度地区スローガンを設定するにあたり、2 つのことを思い描きました。

①常に相手の目線に立ったロータリーの奉仕活動を

私たちは奉仕活動をする際、常に相手の方に寄り添い、同じ目線に立って計画し、実施して参りましょう。これにより真のニーズが把握でき、より実りの多い活動となることでしょう。そして感動と共に奉仕の喜びを分かち合いましょう。

②新会員と共に

入会 3 年未満の会員の退会理由には、様々なものがあると思いますが、真の理由は「寂しさ」にあると思います。新しい仲間に寄り添い、新たな友人が出来た喜びを分かち合いましょう。それがロータリーの発展にもつながります。

そこで地区スローガン

“Stand　By　You”～あなたと共に～

を掲げました。

これからの 1 年間クラブの皆様と共に考え、悩み、歩み、そして楽しんでまいりたいと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。